



園外保育（お散歩等）で育まれる力

～幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿より～

11月号
時保育園

園外保育での出来事や遊びを通して。子どもたちは様々な事を学び成長しています。時地区ならではの自然や地形、地域との関わりを存分に生かして、楽しんでいる姿を紹介します。これらの体験が、今後、大人へと成長していく時に必要な力の土台となっています。

【健康な心と体】など◎ かけっこ・ロッククライミング

「ここ登ってみよ！」「ヨーイドンして走ろう！」と、意欲をもって、自ら体を動かして楽しんじゃいます。



【思考力の芽生え】【協同性】【自然との関わり】

◎ 木の枝にくっついているキノコを発見！ など

「なんだあれ！？」
「高すぎて取れん」
「木の枝を使おう」
「こっちの枝のほうが長いよ。でも重い！」
「僕ここ持つで、後ろを持って」
様々な環境に積極的に関わり、楽しみながら考えたり、試したりして探索活動を遊んでいます。



【協同性】など◎ ツルでつなひき・ツルで電車ごっこ（散歩で見つけたツルクサ）

「みんなで一緒にこのツル、引っ張って！」「このツル、電車にもなるよ」友達と協力したり、いろいろな考え方や良さを認め合ったりして、みんなで楽しみながら遊びを進める姿が見られるようになってきました。



【自然との関わり・思考力の芽生え】など

◎ 秋の実りの収穫や観察

「見て！どんぐり！」「これ、食べられるらしいよ。アケビだってえ。」季節の移り変わりを感じ、様々な秋の自然に触れながら、収穫や観察をして、発見を楽しんでいます。



【道徳性・規範意識の芽生え】など

◎ 異年齢（違うクラスの友達）との関わり

「一緒に手をつなごう！」「オッケー！」
「どんぐりの作り方、教えて！」「いいよ！」
友達の気持ちを考えながら活動できるようになってきています。小さい子をお世話したり、大きい子に憧れをもったり、散歩でも異年齢での友達関係が深まっています。



【社会生活との関わり】【道徳性】など

◎ 地域の方とのふれあい・公共施設を大切に使う

「ここ掘ってみていい？」（かがやき農園）
「絵本をよんでくれてありがとう！」（図書館）
様々な地域の人との関わりを通して、地域や人への関心を高め、喜んで活動しています。

